

やまがた子育て応援プラン 平成27年度事業評価及び今後の施策展開

全体評価

- 平成27年度（計画初年度）の取組みは、3年連続待機児童ゼロ（4月1日）を達成するなど順調な進捗がみられる施策がある一方、取組みのさらなる強化が必要な施策もある。
- 従来からの取組みに加え、オール山形で結婚を支援する「やまがた出会いサポートセンター」の設立、「ひとり親家庭自立促進計画」や「子どもの貧困対策推進計画」、「男女共同参画計画」、「保育士サポートプログラム」の策定、働き方の見直し等の意識改革を推進する「やまがた企業イクボス同盟」の設立など、関係機関等との連携体制を構築して新たな取組みを着実に推進
- 婚姻数や出生数の減少など少子化の流れは続いており、プランに掲げる目指す社会の実現に向けた取組みを一層充実・強化していく必要がある。

検証指標の状況

- ▶ 合計特殊出生率 … H25:1.50(1.47) ▶ H27:1.48(1.50) 【H31:1.70】 東北大再計算値（ ）は厚生労働省公表値
- ▶ 婚姻率(20歳～44歳)… H25:16.07 ▶ H26:16.26 【上昇】
- ▶ 育児休業取得率 … H25:(女性)87.3% ▶ H27:89.7% 【H31:90%】/ 男性 H25:0.7% ▶ H27:2.1% 【H31:13%】
- ▶ ファミリーサポートセンターにおけるサービス提供会員数 … H25:1,776人 ▶ H27:1,659人 【H31:2,300人】
- ▶ 「夢や目標を持つ」子どもの割合 …(小学生)H25:89.2% ▶ H28:85.8%【上昇】/(中学生)H25:74.6% ▶ H28:72.8%【上昇】
- ▶ 若者の県外転出 H25:転出超過者数(18～30歳) … 3,603人 ▶ H27:3,413人 【縮小】 【 】は目標値

基本の柱	平成27年度に進捗が見られた取組の主なもの	今後の施策展開の視点・方向性
1 結婚支援の 充実・強化	【結婚支援体制の強化】 ○県、市町村、商工団体等による「やまがた出会いサポートセンター」を設立し、出会いから結婚までの総合的な支援体制を強化 【若い世代の家庭観・結婚観の醸成】 ○ライフデザインセミナーの対象を高校生、大学生のほか専門学校生にも拡大、開催校が増加	【結婚支援の充実強化】 ○「やまがた出会いサポートセンター」の運営・機能強化 ・1対1の出会い支援サービスの利便性向上や婚活力アップセミナーの開催など結婚希望者のサポートを強化 ・企業内の出会いサポーターによる独身者の交流促進 ○ライフデザインセミナーの対象を社会人へも拡大
2 子育て支援の 充実・強化	【安心して妊娠・出産、子育てができる環境づくり】 ○母子保健コーディネーター養成研修を実施し、産前・産後期から子育て期の総合支援を行う、市町村の「子育て世代包括支援センター」設置を促進 【地域における子育て支援の充実】 ○三世代家族写真・エピソードコンテストの実施などにより、三世代同居・近居に前向きな意識を醸成したほか、三世代同居のためのリフォーム工事等に対する補助制度を創設 ○地域の中高年齢層による子育てを支援するため、補助を実施 【ひとり親家庭等への支援】 ○「第三次山形県ひとり親家庭自立促進計画」、「子どもの貧困対策推進計画」を策定。計画の着実な推進を図るための部局横断的組織「あしながプロジェクトチーム」を設置 【保護や支援を要する子どもの養育環境の整備】 ○児童相談所全国共通ダイヤル189（いち・はや・く）の運用開始により、児童虐待の予防、早期発見、早期対応を推進 ○発達障がい児等のライフステージに応じた情報共有ツール「やまがたサポートファイル」の活用による発達障がい児等への支援の普及	【安心して妊娠・出産、子育てができる環境づくり】 ○母子保健コーディネーターと地域子育て支援拠点（子育て支援センター等）の連携による寄り添い型支援体制の整備 ○子どもの誕生を社会全体で祝福し、子どもや子育て家庭を応援する気運の醸成 【地域における子育て支援の充実】 ○「孫育てサロン」など祖父母世代や地域住民が育児を支える活動を支援 【ひとり親家庭等への支援】 ○ひとり親家庭に対する切れ目のないパッケージ型支援 ・ひとり親家庭応援センター設置による子育て・就労・生活相談、支援への橋渡し ・資格取得を目指すひとり親への切れ目のない支援（入学・就職準備資金貸付、修業中の生活費・家賃助成） ○地域における学習支援・子どもの居場所づくりの促進 ・学習機会の提供の拡大（生活困窮家庭・ひとり親家庭） ・放課後児童クラブの利用に対する支援の拡充 ○子どもの貧困問題に対する理解促進
3 仕事と家庭の 両立支援の推進	【両立を支援する保育サービス等の充実】 ○市町村と連携した保育所や認定こども園の施設整備による定員増、認可外保育施設の認可化、小規模保育事業への移行等を進め、4月1日現在の待機児童ゼロを3年連続で達成 ○保育関係団体や保育士養成機関などと連携し、保育士確保に向けた取組みを内容とする「保育士サポートプログラム」を策定 ○保育士の合同入職式の開催や、保育士の正規雇用化のための奨励金の交付による保育人材の確保促進 【企業等におけるワーク・ライフ・バランスの取組を強化】 ○企業における働き方の見直し等の意識改革を促進するため、企業経営者のネットワーク「やまがた企業イクボス同盟」を設立 【女性の活躍の促進】 ○女性活躍推進の施行を踏まえ「山形県男女共同参画計画」を策定 ○女性管理職養成研修や働く女性のロールモデル集作成により女性活躍の意識を醸成	【両立を支援する保育サービス等の充実】 ○3歳未満児の保育ニーズの増加や年度途中からの保育ニーズへの対応など、市町村と連携した施設整備やニーズの把握による待機児童対策の推進 ○病児・病後児保育事業の実施箇所の更なる拡大 ○保育士就学資金貸付制度の創設や潜在保育士の就業促進など、保育関係団体等と連携した保育士サポートプログラムの推進 【企業等におけるワーク・ライフ・バランスの取組を強化】 ○「働き方見直しコンサルティングモデル事業」等の実施により、働き方見直しのモデルを提示 ○「山形いきいき子育て応援企業」認定制度における男性の家事・育児参画促進など、実践的取組みの拡大 【女性の活躍促進】 ○「やまがた女性活躍応援連携協議会」設立による関係機関と一体となった取組みの推進 ○女性の就労相談や仕事と子育ての両立に関する情報提供などのワンストップ支援の充実
4 若者が活躍 できる環境 づくりの推進	【若者の生活基盤（雇用）の確保】 ○「山形県就職情報サイト」を新たに開設し、企業情報、求人情報、インターンシップ情報、各種就職イベント情報等を発信 ○NPOと協働で若者相談支援拠点を県内6箇所に設置し、相談への対応や居場所を提供 【若者の地域活動促進】 ○若者チャレンジ応援事業により13団体へ補助支援を行い、地域課題の解決につながる取組みを支援 【若者の県内移住促進】 ○「やまがたハッピーライフ情報センター」を開設し、移住相談と就職相談が一緒に出来るワンストップサービスを実施	【若者の生活基盤（雇用）の確保】 ○「山形県就職情報サイト」の掲載企業数増加、掲載コンテンツの充実 ○若者相談支援拠点による出張相談会を新たに開催 【若者の地域活動促進】 ○若者が取り組む地域課題の解決や地域の賑わい創出などの企画の事業化を支援、ネットワーク化を促進 【若者の県内移住促進】 ○やまがたハッピーライフ情報センターの相談体制を強化するとともに、移住に関するセミナーを拡充、移住体験ツアーを実施